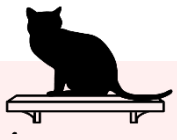
# わかば まちづくり通信

NO.104

発行：市民ネットワークちば わかば
〒264-0033 千葉市若葉区都賀の台 4-5-15
Tel＆Fax 043-284-2339
Mail: wakaba@chibanet.jp

## 地域ネコ活動で WinWinな関係へ！



市民ネットワークちば「ペットとの共生社会をめざすプロジェクト」では、飼い主のいないネコによるトラブルを防ぐため、千葉市動物保護指導センターの出前講座を開催し、地域でできることを学びました。

### エサやり禁止は逆効果

飼い主のいないネコにエサをやっている人に批判が集中することがあります。しかし、“エサやり禁止”にしてしまうと、「ごみをあさる」「隠れてエサやりする」「ネコを捕まえにくくなる」「住民間の関係が悪化」など、逆効果です。

### まずは地域の状況を把握することから

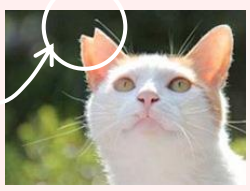
どんな被害があるのか、どのネコなのか、生息場所はどこか、何匹不妊去勢手術をしているのか、など状況の把握が大切です。

### 地域ネコ活動にシフト

飼い主のいないネコを把握し、捕獲。不妊去勢手術（千葉市の助成もあり）、耳カット（※）し地域に戻します。但し、エサ場を設置し、巡回管理、清掃もします。こうしているうちに、子孫を残せないネコは寿命により、自然に減っていきます。

### ウインウインの関係を

地域ネコ活動は地域の人々の連携と時間が必要ですが、結果として、ネコ自身もネコを助けたい人も、ネコが増えてほしくない人も誰も不幸にならずに済む方法です。
それには、まず、動物保護指導センターにご相談を！（山田）



※耳の先をＶ字にカットすることで、不妊去勢手術し管理しているネコであることが一目でわかる

千葉市動物保護指導センター
千葉市稲毛区宮野木町 445-1　電話 043-258-7817

## 学校跡施設検討はその後？

図書館と公民館が駅から遠くなるのか

2020 年７月から始まった「千城台地区学校跡施設利活用検討委員会」は、概ね月１回のペースで開催されています。
和陽園（特養）と保育所の跡施設への移転について異論は出ておらず、焦点は、「若葉図書館と千城台公民館を南小跡地に移転するのかどうか」となっています。

市民意見も、委員会の委員の中でも賛否が分かれています。市民ネットワークでは検討委員と地域住民が意見交換する場を設けることを市に要望しています。　（岩﨑）

## これからの加曽利貝塚構想

＜完成予想図＞

グランドデザインはこちらから

平成 29 年に若葉区の加曽利貝塚が国の特別史跡に指定されたことから、保存活用計画（H29）やグランドデザイン（H31）が作られました。現在、新博物館についての基本計画作りが始まっています。千葉市はこれまで地域の人の声を聞く会を開いていて、市民ネットワークのメンバーで9月13日に参加しました。

20名の参加者が『みんなでつくる育てる博物館』というテーマで、末永く地域活性化に役立つ施設になるようにと、以下のようにアイデアを出し合いました。

- 地域にいる様々な知識、技能を持つ方々を積極的に活用。
- 縄文をイメージしたお菓子やグッズを開発して売店に置く。
- 学校の年間行事に組み入れてもらえるだけのプログラムを作る。

…など

千葉市は 2025 年を完成予定としています。
「これからも皆さんの声を聞く会を開催したい、そして開所後も皆さんからの助言をいただきたい」と千葉市文化財課長。地域にある史跡をみんなで守り、活用したいですね。　（福田）

### 加曽利貝塚

千葉市は貝塚数が日本一多い。日本全国の縄文時代の貝塚は約 2400 カ所と言われ、そのうち約 120 カ所が千葉市内に集中。加曽利貝塚に縄文人が住み始めたのは今から約 7000 年前。巨大貝塚形成が始まったのは今から約 5000 年前。この場所はそのころから 2000 年間にわたり利用され続け、貝塚の周りには、当時の人々が暮らしたムラの跡が広がる、日本最大級の遺跡。現在約 1.5 haが公園として親しまれている。

## 忘れてはいけない福島

東日本大震災による「津波被害」と「原発事故による放射能汚染」は９年たった今も続いている。

今年 10 月 11 日福島県浪江町・双葉町を訪ねた。住宅があった海岸沿いは広々としたセイタカアワダチソウの草原や、メガソーラーパネルが敷き詰められた場所に変貌。道路沿いのモニタリングポストには放射線量の現在値が刻々と表示されている。

汚染された肉牛約 300 頭を、命が尽きるまで、と世話をしている「希望の牧場」にも寄った。代表の吉沢さんは「原発事故が起こると、もう元には戻らない。原発は絶対だめだ！」と話された。「電気が必要だから仕方がない」という人に、この福島の現状を見に来てほしいと思った。　（F）

市民ネットワーク　千葉市議会 令和２年第3回定例会（9月8日～10月7日）

# いわさき明子の議会報告

## 災害や“コロナ”への対策が進んだ 2019年度決算を認定

9月議会では2019年度の決算を審査しました。一般会計の収入は4,580億円、支出は4,510億円で、翌年度への繰り越しを除くと 58 億円の黒字でした。50 人の議員が分科会（総務・保健消防・環境経済・教育未来・都市建設）で、個々の事業に対し意見要望を述べました。（岩崎の担当は教育未来分科会）

### きめ細やかに、着実に、市民に必要な支援を！

2019年度の歳出で特筆すべきは、台風被害への対応で「災害復旧費」51億9700万円が当初予算に追加され、インフラや公共施設の復旧等に使われたことです。また、新型コロナウイルス感染症対策として電話相談窓口の開設、医薬品やマスク等の購入、市政だより臨時号での情報提供など緊急事業が実施されました。

さらに、子育て支援（保育所や子どもルームの定員拡大など）や、教育（小中学校普通教室へのエアコン設置など）への支出が全体の30%と積極的に取り組んでいます。実質公債費比率*12．9%は政令市20市中最下位と、依然借金の割合は高いですが、工夫をしながら財政を運営したことを評価し、決算を「認定」しました。

引き続き、コロナ禍での市民生活の変化を捉えて、今市民に必要な支援を着実にすすめるよう市に求めました。

＊年間支出のうち借金返済が年収に対してどのくらいの割合かみる指標

### 教育未来分科会　＊学校・生涯学習・子育て支援等の分野を担当

#### 子どもの参画を積極的に進めて！

事業の対象になりうる小学生～大学生は14万5千人。それに対し「こども若者の力（ちから）ワークショップ」は165人、「こども若者市役所」は291人の参加と少なすぎます。「こどものまち CBT」も全区開催が未達成です。体験した子どもによる成果発表の場を増やして共感を広げ、参加者増につなげるよう求めました。

#### 学校が変われば不登校児童生徒は減らせる

新たにフリースクールと連携してインターネット学習環境を整備し、不登校児童生徒の学びの場を広げたのは成果です。しかし、不登校児童生徒を減らすため、一人ひとりの困りごとに寄り添える学校へと変革することも必要です。地域とも連携しながら、学校の在り方を見直していくよう要望しました。

## 10月1日 本会議場での一般質問から

### 電磁波についての情報が足りない!!

楽天モバイルが市立学校へ携帯基地局を設置し、千葉市へ寄附や情報提供する協定が結ばれました。子どもの体への影響を心配する保護者の声が届いています。市民が電磁波に関する疑問を話せる学習会等を開催し、情報不足の解消を求めました。

また市民ネットワークで新世代移動通信システム「5G」について調査し、世界的にも安全性が確かでないとわかりました。「疑わしきは使用せず」で、拙速に導入しないよう強く求めました。

### コロナ禍でも学びを止めないで！

緊急事態宣言下では、公民館やコミュニティセンターが休館を余儀なくされました。中でも合唱やダンス、調理サークル等は感染症対策が難しいと、さらに長期の活動休止を強いられました。

岡山市では、ケーブルテレビでの講座放映や SNS の活用、オンライン子ども料理教室など、コロナに負けずに学びの機会を作っています。千葉市でも他市を参考に、コロナ禍ならではの新しい学びの場を工夫するよう要望しました。

### 調査結果を活かした盲ろう者支援を！

目と耳の両方が不自由な「盲ろう者」の実態調査が昨年度行われ、使えるはずの福祉サービスを受けていない方がいることがわかりました。そのような中、市の聞き取りの際に通訳介助者の制度を説明し、利用者登録につなげられたのは成果です。

一人では外出が難しい方が多い現状ですが、今後もご本人の意思を確認しながら、社会参加できるような支援の充実を、市に求めました。

### 携帯基地局ミーティングに参加して

「学校に基地局なんて絶対反対！」と思っていました。電磁波が身体に、ましてや子どもに与える影響を懸念していたからです。しかし電波は必要なものです。私もスマホや Wi-Fi を使います。今回参加して気づかされたことは、ただ反対するのではなく、どうすれば市民全体が納得できるのか、良い環境になるのか、市民と行政とが話し合う場が大切で必要だということです。「双方が共に勉強し、対話をし、よりよい社会を創っていこう」という意見に私は大賛成です。少数の声にも耳を傾け話し合う、千葉市がそのような民主主義を示すモデルになったら、と思います。　（若葉区 S）

### 議案トピックス

#### ▼大宮小の通学路安全対策を

大宮小学校と大宮台小学校が、2021年4月から大宮小学校へ統合します。旧大宮台小学校の子ども達は最長で3.1㎞、約50分の距離を通います。危険な樹木の伐採や道路の補修、路肩のカラー化等の環境整備と、セーフティウォッチャーさんによる見守り等で、安全確保に万全を期すよう求めました。

#### ▼子ども一人にパソコン一台の長短

国の「GIGA スクール構想」の目的は、子どもを誰ひとり取り残さない、グローバルで創造的な学びの実現とされています。教材内容を充実させ、教職員間で使い方研修を行い、宝の持ち腐れにしない取り組みが必要です。

また、パソコンによる眼精疲労、ブルーライトや電磁波等、子どもの身体にどんな影響があるのかは未知数です。使用環境に十分配慮し、現状で考え得る対策を講じること。利用する中で気づく変化を記録し、振り返りを今後の利用方針に生かすことを要望しました。

ご意見をお寄せください。市民ネットワークちば　わかば事務所　☎043-284-2339【E-mail】wakaba@chibanet.jp